

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第4号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年1月13日 05時10分ごろ	
発生場所	沖縄県北大東村北大東島 北大東島灯台から真方位139° 1.7海里付近 (概位 北緯25° 55.7′ 東経131° 18.8′)	
事故等調査の経過	平成24年1月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 とも丸、4.93トン	
船舶番号、船舶所有者等	ON3-320009（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	軽傷 1人（船長）	
損傷	全損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.6m、船尾約1.5mの喫水で沖縄県南大東村北港を出港し、北大東島東方沖の漁場に向け、南大東村南大東島北東方沖を約6ノットの速力で自動操舵により北東進中、船長が、操舵室の椅子に腰を掛けて見張りを行っていたところ、居眠りに陥り、平成24年1月13日05時10分ごろ北大東村江崎港東方の岩場に乗り揚げた。</p> <p>船長は、乗揚の衝撃で目を覚まし、船を降りて近くの磯に避難したのち、来援した僚船によって救助された。</p> <p>本船は、磯波によって大破し、船尾部分が流失したが、僚船によって回収され、流出した油も回収された。また、後日、船首部分も回収された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北、風力 2</p> <p>海象：波高 約1.5m、潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>本船は、1月6日に沖縄県南城市馬天港を出港し、そでいか漁を行っていたが、時化のため、11日に北港へ避難していた。</p> <p>船長は、疲れが蓄積し、風邪をひいて体調を崩しており、出港後30分くらいで居眠りに陥った。</p> <p>本船は、レーダーを作動させていたが、船長は、接近警報をセットしていなかった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、南大東島北東方沖を自動操舵により北東進中、船長が、椅子に腰を掛けて見張りを行っていたところ、居眠りに陥ったことから、江崎港東方の岩場に向けて航行し、同岩場に乗り揚げたものと考えられる。</p>

原因	本事故は、夜間、本船が、南大東島北東方沖を北東進中、船長が居眠りに陥ったため、江崎港東方の岩場に向けて航行し、同岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
----	--